

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 22 年 11 月 24 日

理事長 間宮 忠敏

訪日外客数・出国日本人数 (2010 年 10 月推計値、8 月暫定値)

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◇10 月：訪日外客数 / 前年同月比 11.0%増の 72 万 8 千人に……………P3

◇10 月：出国日本人数 / 前年同月比 4.8%増の 143 万人に……………P4

2010 年 10 月 推計値

頁/Page

- ◆総括表：2010 年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2
2010 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers
- ◆解 説：2010 年 10 月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-18

2010 年 8 月 暫定値

- ◆数 表：2010 年 8 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …………… 19
Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Aug. 2010 (provisional)
- 2010 年 1 月～8 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …… 20
Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.- Aug. 2010 (provisional)
- 2010 年 年齢層 / 性別 出国日本人数 (暫定値) …………… 21
Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010 (provisional)
- 2005 年～2009 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) …… 22
Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) 2005 – 2009

お問い合わせ先：企画部 調査研究グループ

TEL : 03-3216-1905



平成22年 訪日外客数・出国日本人数

2010 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO) 企画部
Corporate Planning Department, Japan National Tourism Organization
Tel: 03-3216-1905

平成22年11月24日
24/Nov/2010

(単位: 人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %
1 Jan.	580,673 (399,352)	640,346 (437,752)	10.3 (9.6)	1,172,539	1,264,299	7.8
2 Feb.	408,628 (256,117)	664,982 (514,106)	62.7 (100.7)	1,359,580	1,289,825	-5.1
3 Mar.	568,586 (371,017)	709,684 (484,298)	24.8 (30.5)	1,419,042	1,563,113	10.2
4 Apr.	626,313 (458,192)	788,212 (601,872)	25.8 (31.4)	1,201,614	1,212,959	0.9
5 May	485,713 (334,957)	721,348 (536,880)	48.5 (60.3)	1,036,356	1,262,453	21.8
6 June	424,427 (286,981)	677,064 (511,123)	59.5 (78.1)	947,928	1,312,608	38.5
1~6 Jan.-June	3,094,340 (2,106,616)	4,201,636 (3,086,031)	35.8 (46.5)	7,137,059	7,905,257	10.8
7 July	632,722 (483,541)	878,582 (714,623)	38.9 (47.8)	1,276,275	1,405,335	10.1
8 Aug.	679,586 (504,395)	802,725 (613,413)	18.1 (21.6)	1,516,588	1,642,240	8.3
9 Sept.	535,544 (335,416)	*717,800	*34.0	1,590,607	*1,542,000	*-3.1
10 Oct.	655,481 (455,813)	*727,600	*11.0	1,364,447	*1,430,000	*4.8
11 Nov.	565,089 (380,067)			1,279,318		
12 Dec.	626,896 (493,985)			1,281,390		
1~10 Jan.-Oct.	5,597,673 (3,885,781)	*7,328,300	*30.9	12,884,976	*13,925,000	*8.1
1~12 Jan.-Dec.	6,789,658 (4,759,833)			15,445,684		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 平成21年1~12月は確定値、平成22年1~8月は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Jan. - Aug. 2010 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2010年10月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Oct. 2010 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2009年 10月	2010年 10月	伸率(%)	2009年 1月～10月	2010年 1月～10月	伸率(%)
総数	Grand Total	655,481	727,600	11.0	5,597,673	7,328,300	30.9
韓国	South Korea	131,195	193,900	47.8	1,278,374	2,040,000	59.6
台湾	Taiwan	97,996	105,700	7.9	860,326	1,097,400	27.6
中国	China	108,301	106,400	-1.8	862,096	1,284,300	49.0
香港	Hong Kong	39,823	30,400	-23.7	366,691	438,500	19.6
タイ	Thailand	24,619	27,800	12.9	146,557	176,600	20.5
シンガポール	Singapore	13,592	13,500	-0.7	90,429	120,500	33.3
豪州	Australia	19,907	16,700	-16.1	170,127	185,800	9.2
米国	U.S.A.	66,577	66,000	-0.9	586,445	614,200	4.7
カナダ	Canada	14,504	13,300	-8.3	127,039	129,500	1.9
英国	United Kingdom	18,288	18,500	1.2	152,429	156,300	2.5
フランス	France	15,256	16,600	8.8	121,127	129,800	7.2
ドイツ	Germany	12,646	15,300	21.0	93,411	104,500	11.9
マレーシア	Malaysia	8,459	9,200	8.8	65,010	85,900	32.1
インド	India	5,274	6,600	25.1	49,590	57,200	15.3
ロシア	Russia	4,500	5,400	20.0	38,816	42,800	10.3
その他	Others	74,544	82,300	10.4	589,206	665,000	12.9

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2009年の数値は確定値、2010年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2010 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

【訪日外客数】

10月は、前年同月比11.0%増の72万8千人
～ 12か月連続の増加 ～

2010年10月： 727,600人（前年同月比11.0%増、72,100人増）

2010年1～10月： 7,328,300人（前年同期比30.9%増、1,730,600人増）

10月の訪日外客数は、前年同月比11.0%増の72万8千人であった。昨年11月以降、前年同月比12か月連続の増加となった。但し、10月単月を過去との比較で見ると、本年は第3位にとどまっている。これまで10月単月で過去最高であった2007年10月（785,207人）と比べ、約5万8千人少なかった。なお、主要15市場のうち、タイ、フランス、ドイツ、インドは10月単月で過去最高を記録した。

1月～10月（累計）の訪日外客数は、前年同期比30.9%増の732万8千人であった。1月～10月（累計）を過去との比較で見ると、本年は過去最高を記録した。これまで過去最高であった2008年1月～10月（7,283,990人）と比べ、約4万4千人多かった。

参考： 10月の訪日外客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2007年：785,207人、2008年：738,832人、2010年：727,600人

【要因】 羽田空港の国際線発着枠拡大、訪日旅行の広告・宣伝効果、景気の回復・好転などが訪日外客増に寄与

- 10月のプラス要因は、羽田空港の国際線発着枠拡大（韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、米国、フランス）、広告・宣伝の効果（韓国、台湾、中国、香港、タイ、カナダ、英国、フランスなど）、旅行フェアにおける訪日旅行商品の販売増（タイ）、景気の回復・好転（韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、カナダ、フランス、ドイツなど）、航空便・航空座席数の増加・回復（韓国、香港、フランス、ドイツなど）、割安航空券の設定・販売競争過熱（カナダ）、クルーズ船需要増（中国、米国）、訪日個人観光査証の発給条件の緩和措置（中国）などが挙げられる。

注： 2010年10月21日に、羽田空港の新滑走路の供用が開始され、新国際線ターミナルが開業したことに伴い、10月31日以降、国際線の発着枠が拡大した。10月31日の羽田空港への新規就航都市は、台北（松山）、バンコク、シンガポール、ホノルル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、パリであった。また、同日、既存の就航都市であるソウル（金浦）、香港との間で航空便が拡充した。

（なお、羽田空港は、11月にコタキナバル、12月にクアラルンプール、2011年1月にニューヨーク、バンクーバー、2月にデトロイト、ロンドンとの間で、新規に航空路線が開設される予定である。）

- 一方、沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件を巡る報道等の影響で、9月まで毎月、前年同月比で大幅増を記録してきた中国人の訪日旅行需要が、10月には落ち込んだ。
- 10月におけるその他のマイナス要因としては、円高傾向（香港、シンガポール、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツなど）、景気の低迷（米国など）、中国漁船衝突事件の影響（香港）、航空便・航空座席数の減少・不足（台湾、中国、シンガポール、豪州、米国、カナダ、英国など）、クルーズ船需要減（台湾）、

日本経由需要の減少（カナダ）、旅行地間の競争激化（豪州）、休日の該当月の移動（韓国、中国）などが挙げられる。

【出国日本人数】

10月は、前年同月比4.8%増の143万人
～ 2か月ぶりの増加 ～

2010年10月： 1,430,000人（前年同月比4.8%増、66,000人増）

2010年1～10月： 13,925,000人（前年同期比8.1%増、1,040,000人増）

10月の出国日本人数は、前年同月比4.8%増の143万人であった。本年8月以来、前年同月比で2か月ぶりに増加した。

出国日本人数は10月として過去最高を記録した2004年(1,556,712人)を127,000人ほど下回った。

参考： 10月の出国日本人数（年別で多い順、2010年は第7位）

2004年：1,556,712人、2000年：1,522,313人、2005年：1,502,194人、2006年：1,502,108人、

2007年：1,484,102人、2002年：1,483,874人、2010年：1,430,000人

【要因】 羽田空港の国際線発着枠拡大、円高などの影響で、海外旅行需要が拡大

- 10月のプラス要因は、羽田空港の国際線発着枠拡大（韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、米国、フランス）、米ドル等に対する円の高止まり、上海万博の開催（5月1日～10月31日）などが挙げられる。
- 一方、沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件を巡る報道等の影響で、10月は日本人の訪中旅行意欲が著しく減退した。

注： 2010年10月に、中国の諸都市で日本に対する抗議活動が行われ、日系スーパー、日本料理店などへの被害も生じた。外務省は10月19日付けで、訪中旅行について注意喚起を発出した。

- パキスタン北西部の洪水被害（7月下旬～）、ニュージーランドのクライストチャーチ地震の発生（9月4日）、グアテマラ各地での土砂崩れ被害（9月4日～5日）、米国の電子渡航認証システム（ESTA）の有料化（9月8日～）、エクアドルでの公務員法制定に対するデモの暴徒化（9月30日）及びキトを中心とする非常事態宣言の発出（9月30日～）、ハイチでのコレラ流行（10月中旬～）などは局地的な阻害要因となった。

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

前年からの回復に加え、景気の回復、訪日旅行の宣伝効果、航空座席供給量の増加などが影響し、訪日客が5割弱増加

10月： 193,900人（前年同月比47.8%増、62,700人増）

1～10月： 2,040,000人（前年同期比59.6%増、761,600人増）

訪日客は、10月に前年同月比47.8%増、1月～10月の累計で前年同期比59.6%増とそれぞれ大幅な伸びを示した。月別では昨年11月以降、12か月連続の前年同月比増となった。昨年10月の時点では、新型インフルエンザ流行、円高、景気低迷などの影響で、訪日客の落ち込みが30.5%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年10月には反動が生じ増加幅が拡大した。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2007年：222,737人、2010年：193,900人

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2007年：2,173,313人、2008年：2,156,877人、2010年：2,040,000人

[要因]

- 景気の回復、低い失業率などを背景に、小売販売額が増加するなど消費意欲が活発化している。また、為替レートは円が高止まっているものの安定している。こうした状況は訪日旅行の需要拡大にプラスに作用している。

注： 韓国銀行によると、2010年第3四半期のGDPは、前年同期比4.5%増となった。前期に比べ伸率は鈍化したものの、消費や投資意欲は旺盛で、景気は堅調とみられている。（2009年第1四半期：4.3%減、第2四半期：2.2%減、第3四半期：1.0%増、第4四半期：6.0%増、2010年第1四半期：8.1%増、第2四半期：7.2%増）

注： 韓国統計庁によると、失業率は7か月連続で3%台が続いている。（2010年1月：5.0%、2月：4.9%、3月：4.1%、4月：3.8%、5月：3.2%、6月：3.5%、7月：3.7%、8月：3.3%、9月：3.4%、10月：3.3%）

注： 韓国統計庁によると、2010年9月の小売販売額は、前年同月比7.8%増の23兆7,820億ウォン（1兆7,360億円）となった。前年同月比17か月連続の増加を示した。

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、検索サイト、映画館、雑誌などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。また、本年6月から9月にかけて、旅行会社の訪日旅行商品を支援するための共同広告も展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

注： 旅行会社との共同広告は、格安航空会社利用商品、クルーズ商品、新規開発商品などの需要を拡大するために展開された。

- 本年3月以降、日韓間の航空便が急増している。なお、10月31日からの羽田⇄ソウル（金浦）便の増便に伴い、JNTOと日系航空会社は共同で広告を展開し、集客力を高めた。

注： 日韓間の航空便の拡大

茨城⇄ソウル（仁川） 2010年3月11日、週7便で新規就航（アジアナ航空）

青森⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（大韓航空）

中部⇄ソウル（金浦） 2010年3月28日、週7便で新規就航（済州航空）

中部⇄済州 2010年3月28日以降、週3便から週5便に増便（大韓航空）

関西⇄済州 2010年3月28日以降、週6便から週7便に増便（大韓航空）

福岡⇄釜山 2010年3月29日、週7便で新規就航（エア釜山）
 羽田⇄釜山 2010年4月16日から10月25日まで、週1便の深夜チャーター便を運航（大韓航空）
 関西⇄釜山 2010年4月26日、週7便で新規就航（エア釜山）
 羽田⇄釜山 2010年5月7日から10月22日まで、週1便の深夜チャーター便を運航（アジアナ航空）
 対馬⇄釜山 2010年5月7日、週4便で新規就航（コリアエクスプレスエア）
 福島⇄ソウル（仁川） 2010年6月4日から10月29日まで、週2便のチャーター便を運航（イースター航空）
 関西⇄清州 2010年9月1日、週4便で新規就航（大韓航空）
 新千歳⇄ソウル（仁川） 2010年9月2日、週7便から週10便に増便（大韓航空）
 旭川⇄ソウル（仁川） 2010年10月1日から10月31日まで、週2便のチャーター便を運航（アジアナ航空）
 那覇⇄ソウル（仁川） 2010年10月31日以降、週3便から週5便に増便（アジアナ航空）
 羽田⇄ソウル（仁川） 2010年10月31日以降、週7便で新規就航（大韓航空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（日本航空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（全日空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（大韓航空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（アジアナ航空）

注： 日韓間の航路の拡大

門司⇄釜山 2010年5月17日以降、週6便で新規就航（グランドフェリー）

注： 日韓間の航空便の縮小

北九州⇄ソウル（仁川） 2010年1月11日以降、週4便から週3便に減便（済州航空）

関西⇄釜山 2010年1月12日以降、週7便を運休（日本航空）

大分⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

長崎⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

成田⇄ソウル（仁川） 2010年10月1日以降、週21便から週14便に減便（日本航空）

- 一方、連休となる秋夕（旧盆）休暇が、本年は9月21日（火）から9月23日（木）であった。昨年の該当日は、陰暦の関係で10月2日（金）から10月4日（日）であったため、本年は、その分の訪日旅行需要が9月に移行した。それでもなお、10月は前年同月比で大幅増を記録し、訪日旅行需要の順調な回復ぶりが示された。

◆台湾

景気の回復、訪日旅行の宣伝効果などにより、訪日客が増加

10月： 105,700人（前年同月比7.9%増、7,700人増）

1～10月： 1,097,400人（前年同期比27.6%増、237,100人増）

訪日客は、10月に前年同月比7.9%増、1月～10月の累計で前年同期比27.6%増を記録した。月別では本年9月以降、2か月連続の前年同月比増となった。昨年10月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大による航空便の減便措置などの影響で、訪日客の落ち込みが22.4%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年10月には反動が生じ増加幅が拡大した。なお、10月単月、1月～10月累計とも、台湾は中国（大陸）の増加に押されて、市場別で第3位となっている。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2007年：130,576人、2008年：126,308人、2006年：122,855人、2005年：107,093人、2010年：105,700人

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第4位）

2008年：1,225,721人、2007年：1,184,112人、2006年：1,127,335人、2010年：1,097,400人

[要因]

- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にもプラスに働いている。

注： 台湾行政院主計処によると、台湾の経済成長率（実質GDP）は、2010年第1四半期が前年同期比13.6%増、第2

四半期が同 12.9%増、第 3 四半期（速報値）が同 9.8%増であった。

注： 台湾行政院主計処によると、2010 年 9 月の失業率は 5.05%で、前年同月比 0.99 ポイント減、前月（2010 年 8 月）比 0.12 ポイント減となった。

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年 6 月から 7 月にかけて、テレビ、新聞、バス車体、屋外広告などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。また、本年 10 月には、台湾でも人気のあるアイドルグループ「嵐」（観光立国ナビゲーター）による訪日旅行の宣伝広告を、テレビ、新聞、雑誌、鉄道駅構内、空港内などを通じて展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 本年 7 月初旬に台北の繁華街で、観光庁の主催による日本の祭り風景を再現したイベント「日本の夏祭り in 台北」を開催した。日本の観光宣伝も展開し、訪日旅行の需要喚起につながった。

注： 本イベントは 7 月 3 日から 5 日まで開催された。台湾で初の開催となった。

- 本年 3 月以降、日台間の航空便の一部で増便、機材の大型化があった。また、本年 10 月末には、羽田空港と台北市内の松山空港との間で直行便が就航した影響で、日台間の航空座席供給量が若干増加した。但し、本年の航空座席供給量は依然、昨年よりも少ない状態にあることに加え、訪日旅行の需要回復により座席占有率が上昇していることから、特に団体客用の座席確保が難しくなっている。なお、中台直行便の拡大に伴い、昨年日台間でチャーター便として運航されていた航空機材の一部が、本年は中国大陸へ振り向けられており、日本へのチャーター便の機材繰りが昨年より難しくなっていることも、航空座席の確保難に拍車を掛けている。

注： 日台間の航空便の拡大

関西⇄台北（桃園） 2010 年 3 月 28 日以降、機材を大型化（中華航空）
那覇⇄台北（桃園） 2010 年 3 月 28 日以降、週 11 便から週 14 便に回復（中華航空）
関西⇄台北（桃園）⇄シンガポール 2010 年 7 月 5 日、週 7 便で新規就航（ジェットスター航空）
広島⇄台北（桃園） 2010 年 8 月 7 日以降、週 5 便から週 6 便に増便（中華航空）
中部⇄台北（桃園） 2010 年 8 月 31 日以降、週 6 便から週 7 便に増便（中華航空）
仙台⇄台北（桃園） 2010 年 9 月 15 日から 10 月 30 日まで、週 2 便を週 4 便に増便（エバー航空）
成田⇄高雄 2010 年 10 月 31 日、週 3 便で新規就航（中華航空）
羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（日本航空）
羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（全日空）
羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（中華航空）
羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（エバー航空）

注： 日台間の航空便の縮小

中部⇄高雄 2010 年 10 月 13 日から 10 月 25 日まで、定期便（週 4 便運航）を計 6 便運休（中華航空）
成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 21 便から週 14 便に減便（日本航空）
成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 14 便から週 7 便に減便するとともに、機材を小型化（全日空）
成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 22 便から週 19 便に減便（中華航空）
成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 14 便から週 10 便に減便（エバー航空）
中部⇄高雄 2010 年 10 月 31 日以降、週 4 便から週 2 便に減便（中華航空）
那覇⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 14 便から週 11 便に減便（中華航空）

注： 2010 年は 2009 年に比べて、日台間の 1 月～9 月（累計）の定期便航空座席数が合計で約 10 万 4 千席減少した。但し、2010 年 9 月の日台間の定期便航空座席数は、2009 年 9 月に比べて約 3 千席増加した。

- 台湾と石垣島、那覇を結ぶクルーズ船「スーパースター・リブラ」の本年 10 月の運航回数は、昨年 10 月に比べて 2 便少なく、台湾人乗客数が 3 千人ほど減少した。

注： 同クルーズ船は台湾（基隆）から石垣島や那覇に向けて、2010年10月に7便、2009年に9便運航された。

◆中国

中国漁船衝突事件、中秋節該当月の移動、航空座席の確保難などが影響し、訪日客が減少

10月： 106,400人（前年同月比1.8%減、1,900人減）

1～10月： 1,284,300人（前年同期比49.0%増、422,200人増）

訪日客は本年2月から9月まで毎月、当該月ごとに過去最高を記録していたが、本年10月は一転、9か月ぶりの前年同月比減（1.8%減）となった。但し、1月～10月累計の訪日客数は過去最高を維持している。本年1月～10月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～10月（873,686人）と比べて、約41万1千人増えている。なお、10月単月、1月～10月累計とも、中国（大陸）は台湾を上回り、市場別で第2位となっている。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2009年：108,301人、2010年：106,400人

[要因]

- 沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件を巡る報道等の影響で、9月まで毎月、前年同月比で大幅増を記録してきた訪日旅行需要が、10月には落ち込んだ。

注： 2010年各月の訪日中国人の前年同月比

1月：16.5%減（旧正月休暇の移動の影響）、2月：92.9%増、3月：22.2%増、4月：41.2%増、5月：86.0%増、6月：183.4%増、7月：142.8%増、8月：57.3%増、9月：39.3%増、10月：1.8%減

注： 中国の一部の地方旅遊局では9月下旬、現地の旅行会社に対して訪日旅行の募集自粛を要請したとの情報がある。

注： 9月29日に、日本国内で中国人団体観光客が乗車した観光バスに対して妨害行為が発生したことをきっかけに、中国国家旅遊局は9月30日付けで、訪日旅行について注意喚起を発出した。10月にも同注意喚起は継続した。

注： JNTOは9月29日付けで、JNTOウェブサイト（訪日旅行の公式ウェブサイト）を通じて、中国語による「訪日旅行歓迎メッセージ」を発信するとともに、中国のJNTO各事務所から現地の旅行会社やメディアに同メッセージを配布した。

- 連休となる中秋節（旧盆）休暇が、本年は9月22日（水）から9月24日（金）であった。陰暦に基づく中秋節休暇の昨年の該当月は、国慶節期間中の10月3日（土）からであったため、本年は、その分の訪日旅行需要が9月に移行した。
- 本年3月以降、日中間の航空便で拡大と縮小があった。また、10月1日には、日系航空会社によって減便措置が取られ、航空座席供給量が更に減少した。航空便の縮小や機材の小型化があった路線の一部では、航空座席の確保が困難な状況が見られた。航空座席の不足に伴う航空運賃の値上がりに加え、円高の影響により、訪日ツアー価格が上昇した。

注： 日中間の航空便の拡大

新千歳⇄上海（浦東） 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（中国東方航空）

成田⇄上海（浦東） 2010年3月28日以降、週14便から週21便に増便（全日空）

成田⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）

静岡⇄上海（浦東） 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（中国東方航空）

中部⇄成都 2010年3月28日、週7便で新規就航（中国国際航空）

関西⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）

福岡⇄広州 2010年3月28日以降、週2便から週3便に増便（中国南方航空）

新千歳⇄北京 2010年7月4日以降、週2便から週4便に増便（中国国際航空）

旭川⇄上海（浦東） 2010年7月9日から10月8日まで、週2便で定期チャーター便（座席数150席）を運航（中国東方航空）

茨城⇄上海（浦東） 2010年7月28日以降、週3便で定期チャーター便（座席数180席）を運航（春秋航空）

新千歳⇄瀋陽 2010年8月11日、週2便で運航再開（中国南方航空）

羽田⇄北京 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）

羽田⇄上海（虹橋） 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）

成田⇄上海（浦東） 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）

注： 日中間の航空便の縮小

成田⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（全日空）

中部⇄重慶 2010年3月28日以降、週7便を運休（中国国際航空）

関西⇄青島 2010年3月28日以降、週7便から週4便に減便（全日空）

関西⇄アモイ 2010年3月28日以降、週4便を運休（全日空）

関西⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（中国南方航空）

中部⇄広州 2010年10月1日以降、週4便を運休（日本航空）

関西⇄北京 2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）

関西⇄広州 2010年10月1日以降、週3便を運休（日本航空）

旭川⇄上海（浦東） 2010年10月11日から2011年1月3日まで、定期チャーター便を運休（中国東方航空）

関西⇄南京 2010年10月15日から10月29日まで、定期便（週2便運航）を計2便運休（中国東方航空）

成田⇄瀋陽 2010年10月31日以降、週7便から週3便に減便（全日空）

成田⇄北京 2010年10月31日以降、航空機材を小型化（全日空）

中部⇄上海（浦東） 2010年10月31日以降、週7便を運休（全日空）

- 一方、10月の九州地域へのクルーズ船寄港状況を見ると、本年10月のクルーズ船客数は、昨年10月と比べて4千人ほど多かったとみられる。

注： 本年10月は、「コスタ・ロマンチカ号」が1回、「コスタ・クラシカ号」が3回、「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」が1回日本に寄港した。いずれの便も天津または上海から九州（福岡、鹿児島、長崎のいずれか）と韓国（釜山、済州島）に寄港した。

- 中国政府が進める景気刺激策の効果もあり、経済は好調に推移しており、消費意欲は比較的旺盛である。

注： 中国国家统计局によると、2010年第2四半期の実質GDPは前年同期比10.3%増、第3四半期の実質GDPは同9.6%増となった。

注： 中国国家统计局によると、2010年第3四半期の都市登録失業率は4.1%で、前年同期比0.2ポイント減となった。

注： 中国国家统计局によると、2010年10月の社会消費財小売総額は前年同月比18.6%増となった。

- 本年7月1日以降、訪日個人観光査証の発給条件が緩和されたことにより、個人旅行ができる層が拡大した。
- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、新聞、雑誌、検索サイト、地下鉄構内、ビル構内などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を大々的に展開した。また、本年7月15日から21日まで、上海万博の日本館で「ビジット・ジャパン・フェスティバル」を開催し、ショーやイベントを行った。これにより、訪日旅行需要が下支えされたと考えられる。

◆香港

円高の進行、中国漁船衝突事件の影響などにより、訪日客が2割強減少

10月： 30,400人（前年同月比23.7%減、9,400人減）

1～10月： 438,500人（前年同期比19.6%増、71,800人増）

訪日客は本年2月から9月まで毎月、当該月ごとに前年同月比増を記録していたが、本年10月は一転、二桁減（23.7%減）となった。但し、1月～10月の累計では、前年同期比19.6%増となった。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2008年：45,546人、2009年：39,823人、2007年：32,015人、1998年：31,042人、2010年：30,400人

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：471,923人、2010年：438,500人

[要因]

- 本年5月以降、円高香港ドル安が進行した。10月の月間平均レートは1香港ドル＝10.6円で、4月と比べて1.5円高、前年同月（2009年10月）と比べて1.1円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件以後、一連の報道が香港でも大きく取り扱われ、訪日旅行が敬遠された。
- 一方、ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、新聞、雑誌、地下鉄・路面電車などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が下支えされたと考えられる。
- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にプラスに作用している。

注： 香港政府統計処によると、香港の経済成長率（実質GDP）は、2010年第1四半期が前年同期比8.0%増、第2四半期が同6.5%増、第3四半期が同6.8%増であった。

注： 香港政府統計処によると、2010年7月～9月の失業率は4.2%（暫定値、季節調整済み）で、前年同期比1.1ポイント減、また、前期比（2010年4月～6月）0.4ポイント減となった。失業率は全般的に低下傾向にある。

- 日香間、日・マカオ間の航空便が本年3月以降拡充された。

注： 日香間、日・マカオ間の航空便の拡大

新千歳⇄香港 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（香港エクスプレス航空）

成田⇄マカオ 2010年3月28日、週3便で新規就航（マカオ航空）

→香港から訪日旅行をする際、マカオ経由便も利用されている。

那覇⇄香港 2010年5月1日から10月31日まで、週2便で季節運航便を運航（香港ドラゴン航空）

成田⇄香港 2010年10月31日、週7便で新規就航（香港航空）

羽田⇄香港 2010年10月31日以降、週3便から週7便に増便（日本航空）

羽田⇄香港 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）

羽田⇄香港 2010年10月31日、週14便で新規就航（キャセイパシフィック航空）

関西⇄香港 2010年10月31日以降、週21便から週28便に増便（キャセイパシフィック航空）

福岡⇄香港 2010年10月31日、週7便で運航再開（香港ドラゴン航空）

注： 日香間の航空便の縮小

羽田⇄香港 2010年10月1日から10月30日まで、週7便を運休（日本航空）

関西⇄香港 2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）

成田⇄香港 2010年10月31日以降、週42便から週35便に減便（キャセイパシフィック航空）

成田⇄香港 2010年10月31日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

◆タイ

景気の回復、訪日旅行番組の放映効果、訪日旅行商品の販促効果などにより、訪日客が1割強増加

10月： 27,800人（前年同月比12.9%増、3,200人増）
1～10月： 176,600人（前年同期比20.5%増、30,000人増）

訪日客は10月単月、1月～10月の累計とも過去最高を記録した。月別では本年3月以降、8か月連続の前年同月比増となった。本年10月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2009年10月（24,619人）と比べて、約3千人増えている。また、本年1月～10月（累計）の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～10月（167,728人）と比べて、約9千人増えている。

[要因]

- 輸出と民間投資の拡大により、景気が回復基調にある。消費が伸びており、外国旅行需要も高まっている。

注： タイ財務省によると、2010年9月の輸出額は前年同月比21.2%増の181億米ドルで、単月の輸出額としては過去最高を記録した。

注： タイ中央銀行によると、2010年9月の民間消費指数は前年同月比3.1%増、民間投資指数は同20.0%増を記録した。

注： タイ国家経済社会開発委員会（NESDB）事務局によると、2010年第2四半期のGDPは前年同期比9.1%増を記録した。第3四半期は7.3%～8.0%増を見込んでいる。

- 訪日旅行番組が複数放映され、訪日旅行の需要が喚起された。

注： 訪日旅行に関するテレビ番組の放映

訪日旅行特化型の番組「Say Hi!」： チャンネル3で隔週日曜の0:00～0:30に放映

訪日旅行特化型の番組「ホリデー・ジャパン」： チャンネル5で祝日（10月25日）のみ14:00～14:30に放映

旅行番組「サムットコージョン」： チャンネル5で2010年9月～10月の日曜21:30～22:00に5週にわたって放映

旅行番組「ティアオラマイ・タイランド・ワールド」： チャンネル3で2010年9月～10月の日曜06:25～06:55に4週にわたって放映

- 「ディスカバリーワールド旅行フェア」が9月2日から5日までバンコクで開催された。10月の学校休暇期間に訪日する旅行商品の販売実績が、昨年の1.5倍と好調であった。
- 3月から5月にかけてバンコクで反政府デモが繰り広げられたが、この期間中、日本人の訪タイ旅行需要は縮小した。10月になっても同需要の回復が遅れている。その一方で、タイ人にとっては航空座席の確保が容易になり、送客に結びついている。
- 10月に日タイ航空路線で増減便措置が取られた。

注： 日タイ間の航空便の拡大

羽田⇄バンコク 2010年10月30日、週7便で新規就航（全日空）

羽田⇄バンコク 2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）

羽田⇄バンコク 2010年10月31日、週7便で新規就航（タイ国際航空）

中部⇄バンコク 2010年10月31日以降、週7便から週10便に増便（タイ国際航空）

福岡⇄バンコク 2010年10月31日以降、週5便から週7便に増便（タイ国際航空）

注： 日タイ間の航空便の縮小

中部⇄バンコク 2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）

◆シンガポール

航空座席の確保難、割安な旅行地へのシフトなどにより、訪日客が減少

10月： 13,500人（前年同月比0.7%減、100人減）

1～10月： 120,500人（前年同期比33.3%増、30,100人増）

訪日客は本年2月から9月まで毎月、当該月ごとに前年同月比増を記録していたが、本年10月は0.7%減と伸び悩んだ。但し、1月～10月の累計では、前年同期比33.3%増となった。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2008年：13,849人、2009年：13,592人、2010年：13,500人

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：121,328人、2010年：120,500人

[要因]

- 10月30日まで、日本⇄シンガポール間の航空座席供給量は減少傾向にあった。そのため、団体客よりも単価の高い個人客に座席が割り当てられる傾向が強まり、団体客にとっては予約が取りづらい状況にあった。但し、10月31日には、日系、シンガポール系の各航空便が羽田⇄シンガポール間に新規就航したことにより、航空座席供給量は回復した。なお、10月31日以降、同路線を利用した割安な訪日旅行商品が出回ったため、訪日旅行需要の一部が10月31日以降にシフトした。

注： 日本⇄シンガポール間の航空便の縮小、航空座席数の減少

成田⇄シンガポール 2009年10月25日以降、航空機材を小型化した。月間で約3千席の減少となる。（日本航空）

関西⇄シンガポール 2010年1月17日以降、週7便を運休。月間で約7千席の減少となる。（日本航空）

成田⇄シンガポール 2010年10月31日以降、週7便を運休（日本航空）

注： 日本⇄シンガポール間の航空便の拡大

羽田⇄シンガポール 2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）

羽田⇄シンガポール 2010年10月31日、週7便で新規就航（全日空）

羽田⇄シンガポール 2010年10月31日、週14便で新規就航（シンガポール航空）

- 本年5月以降、シンガポールドルは、円に対し下落している反面、米ドルやユーロに対しては、シンガポールドル高で推移している。これにより、訪米旅行、訪欧旅行が割安になっている。日本よりも割安な旅行地へと旅行を切り替える動きがみられている。

注： 10月の月間平均レートは1シンガポールドル=62.9円で、円高が進行する以前の4月（1シンガポールドル=67.6円）と比べて4.7円高を記録した。一方、他通貨に対しては、10月には1米ドル=1.30シンガポールドル、1ユーロ=1.81シンガポールドルとなり、4月（1米ドル=1.38シンガポールドル、1ユーロ=1.86シンガポールドル）と比べて各々0.1シンガポールドル高、0.26シンガポールドル高を記録した。（為替レート出典：三井住友銀行）

- 一方、経済成長率は第3四半期に入って鈍化しているものの、景気は依然として好調である。外国旅行の需要を下支えしている。

注： シンガポール通産省によると、2010年第3四半期のGDP（速報値）は前年同期比10.3%増となった。（参考：第1四半期のGDPは同16.9%増、第2四半期は同19.6%増であった。）

注： シンガポール経済開発庁によると、2010年9月の製造業生産高指数（2007年=100、速報値）は前年同月比26.2%増の121.9となった。

◆豪州

航空便の縮小、旅行地間の誘致競争の激化などにより、訪日客が減少

10月： 16,700人（前年同月比16.1%減、3,200人減）

1～10月： 185,800人（前年同期比9.2%増、15,700人増）

訪日客は、10月に前年同月比16.1%減、1月～10月の累計で前年同期比9.2%増を記録した。月別では本年8月以来、2か月ぶりの前年同月比減となった。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第4位）

2007年：20,192人、2009年：19,907人、2008年：18,200人、2010年：16,700人

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：205,583人、2010年：185,800人

[要因]

- 本年4月以降、日豪間の航空便の再開や一部機材の大型化がみられ、また、一部の航空会社で期間限定の割安航空運賃の設定が行われるなどの動きがあったことから、訪日旅行需要が高まっていたが、10月には日系と豪州系の航空会社の共同運航便（成田⇄ブリスベン便）が運休し、航空座席供給量が減少したことにより、訪日旅行需要も縮小した。

注： 日豪間の航空便の拡大

関西⇄ケアンズ 2008年12月に運休したが、2010年4月1日以降、週4便で再開（ジェットスター航空）

成田⇄シドニー 2010年7月5日以降、航空機材を大型化（カンタス航空）

注： 日豪間の航空便の縮小

成田⇄ブリスベン 2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）

注： 10月に適用された割安航空運賃の例

ジェットスター航空は、関西⇄ケアンズ便に片道199豪ドル～（税抜き額、搭乗期間：2010年10月6日～12月15日）、成田⇄ゴールドコースト便に片道229豪ドル～（税抜き額、搭乗期間：2010年10月6日～12月15日）の割安な運賃を設定した。また、日本航空も、成田⇄シドニー便などに、往復850豪ドル～（税抜き額、搭乗期間：2010年10月7日～2011年3月31日）の割安な運賃を設定した。

- 東南アジア系を始めとする格安航空会社が、豪州路線の拡大や豪州での販促強化を進めており、日豪間の航空路線に限らず多方面で割引競争が起こっている。運賃の低下に合わせて、東南アジア諸国などが誘致競争を活発化させており、日本よりも安く行ける旅行地へと旅行を切り替える動きがみられている。
- 昨年10月には、豪州とニュージーランドのラグビー国家代表チームの対抗戦（ブレディスロー・カップ）が初めて日本で開催され、訪日客の増加に寄与したが、本年は香港で開催されたため、その分の訪日客数が目減りした。

◆米国

航空座席の不足、円高の進行、景気低迷などが影響し、訪日客が減少

10月： 66,000人（前年同月比0.9%減、600人減）

1～10月： 614,200人（前年同期比4.7%増、27,800人増）

訪日客は、10月に前年同月比0.9%減、1月～10月の累計で前年同期比4.7%増を記録した。月別では本年8月以来、2か月ぶりの前年同月比減となった。本年10月の

訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2006年10月(82,097人)と比べて、約1万6千人減っている。また、本年1月～10月(累計)の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2005年1月～10月(700,383人)と比べて、約8万6千人減っている。

参考： 10月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第12位)

2006年：82,097人、2007年：79,332人、2005年：76,704人、2000年：72,225人、2004年：71,190人、
1998年：69,884人、1999年：69,302人、2002年：68,729人、2008年：68,058人、2009年：66,577人、
2003年：66,512人、2010年：66,000人

参考： 1月～10月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第8位)

2005年：700,383人、2006年：693,132人、2007年：687,164人、2008年：657,363人、2004年：642,346人、
2002年：623,051人、2000年：615,847人、2010年：614,200人

[要因]

- 本年7月以降、円高の急進により、日本人の訪米旅行需要が回復基調にある。また、米国企業の外国出張需要が徐々に回復するとともに、出張費節約のために以前に比べてビジネスクラスよりもエコノミークラスを利用する割合が高まっている。そのため、エコノミークラスの座席占有率は昨年よりも高い状態にあり、一部路線では、観光目的の米国人が航空座席を確保しにくい状態となっている。

注： 2009年10月と2010年10月の格安往復航空運賃の最低価格帯(米国での発券価格、燃油サーチャージを含む)

ニューヨーク⇄成田 2009年 800～900米ドル台 → 2010年 900～1,100米ドル台
ロサンゼルス⇄成田 2009年 600～700米ドル台 → 2010年 900～1,000米ドル台

- 7月に円高米ドル安が進行し、10月までの間、円高傾向が続いている。10月の月間平均レートは1米ドル=81.9円で、6月と比べて9.0円高、前年同月(2009年10月)と比べて8.4円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。(為替レート出典：三井住友銀行)
- 高失業率などの指標が示すとおり、景気が完全に回復しておらず、個人消費支出も伸び悩んでいる。

注： 米国労働省によると、失業率は依然高い水準に留まっている。(2010年1月：9.7%、2月：9.7%、3月：9.7%、4月：9.9%、5月：9.7%、6月：9.5%、7月：9.5%、8月：9.6%、9月：9.6%、10月：9.6%)

注： 米国商務省によると、個人消費支出には大きな伸びが見られていない。(前月比で、2010年1月：0.2%増、2月：0.5%増、3月：0.5%増、4月：0.1%減、5月：0.1%増、6月：0.0%、7月：0.4%増、8月：0.4%増、9月：0.2%増)

- 一方、昨年10月に日本に寄港しなかった大型クルーズ船が、本年10月には相次いで寄航した。

注： 10月に寄航した主なクルーズ船

アムステルダム号 2010年10月5日、仙台に寄港した後、横浜、清水、神戸を経て中国へ向かった。
ダイヤモンド・プリンセス号 2010年10月7日、長崎に寄港した。

- 10月に日米航空路線で、増減便措置があった。

注： 日米間の航空便の拡大、航空座席数の増加

成田⇄ソルトレイクシティ 2009年10月4日以降、週4便を運休していたが、2010年5月14日以降、週5便で運航を再開(デルタ航空)

関西⇄サンフランシスコ 2009年10月25日から2010年3月27日まで、週7便から週5便に減便していたが、2010年3月28日以降、週7便に回復(ユナイテッド航空)

成田⇄ニューヨーク 2010年6月1日以降、航空機材を大型化(デルタ航空)

関西⇄シアトル 2010年6月7日、週7便で新規就航(デルタ航空)

羽田⇄サンフランシスコ 2010年10月31日、週7便で新規就航(日本航空)

羽田⇄ロサンゼルス 2010年10月31日、週7便で新規就航(全日空)

羽田⇄ホノルル 2010年10月31日、週7便で新規就航(JAL ウェイズ)

羽田⇄ホノルル 2010年10月31日、週7便で新規就航（全日空）

注： 日米間の航空便の縮小、航空座席数の減少

成田⇄ニューヨーク 2010年4月19日以降、航空機材を小型化（全日空）

成田⇄ニューヨーク⇄サンパウロ 2010年9月30日以降、週2便を運休（日本航空）

成田⇄サンフランシスコ 2010年10月31日、週7便を運休し、羽田に週7便を振替（日本航空）

◆カナダ

航空座席供給量の減少、円高の進行などにより、訪日客が減少

10月： 13,300人（前年同月比8.3%減、1,200人減）

1～10月： 129,500人（前年同期比1.9%増、2,500人増）

訪日客は、10月に前年同月比8.3%減、1月～10月の累計で前年同期比1.9%増を記録した。月別では本年8月以来、2か月ぶりの前年同月比減となった。

参考： 10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第6位）

2007年：15,509人、2006年：14,899人、2009年：14,504人、2008年：14,201人、2005年：13,461人、

2010年：13,300人

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2008年：141,009人、2007年：135,165人、2010年：129,500人

[要因]

- 本年10月に、日加間の主要航空路線の一部で航空機材が小型化され、航空座席供給量が減少した。この影響で、日本を旅行目的地とするカナダ人が減少したほか、成田を経由してアジア諸都市へ向かうアジア系カナダ人（インド系、中国系など）の日本経由需要も減少した。

注： 日加間の航空便の縮小、航空座席数の減少

成田⇄バンクーバー 2010年10月1日以降、航空機材を小型化（日本航空）

成田⇄カルガリー 2010年3月28日から10月28日まで、週3便で新規の定期便を運航したが、10月29日以降運休した。2011年3月末に再開予定（エア・カナダ）

- 円高の進行を背景に、カナダへの日本人旅行者が増加している。紅葉シーズンの10月までは例年、日本人の訪加旅行需要が高まる。そのため、10月の航空座席の確保が一部で困難になったと思われる。
- 本年5月以降、円高カナダドル安が進行した。10月の月間平均レートは1カナダドル＝80.4円で、4月と比べて12.6円高、前年同月（2009年10月）と比べて5.3円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 一方、経済成長率は第2四半期に入って鈍化しているものの、景気は依然として堅調である。実質所得は長期にわたって増加しており、訪日旅行需要の下支えにつながっている。

注： カナダ統計局によると、2010年8月の平均週給は前年同月比4.4%増で、23か月連続の実質増収となった。

注： カナダ統計局によると、カナダの経済成長率（GDP、年率換算）は、2010年第1四半期が前年同期比5.8%増、

第2四半期が同2.0%増であった。（月別の経済成長率（GDP、年率換算）は、前月比で、3月：0.5%増、

4月：0.0%、5月：0.1%増、6月：0.2%増、7月：0.1%減、8月：0.3%増）

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年8月以降、カナダ国内で160超の直営店舗を有する大手流通網と連携し、訪日旅行商品の販促キャンペーンを実施していたが、9月からは販路を更に拡大して、約400の店舗で訪日旅行商品の

販売を展開している。これにより、訪日旅行需要が掘り起こされた。

注： 大手流通網を活用した販促キャンペーン

JNTOがツアー造成支援をした値頃感のある訪日旅行商品を大量に販売するため、大手流通網と提携して、カナダ国内の約400の直営店舗とウェブサイトを通じて宣伝した。

- 本年9月以降、割安航空券の販売競争が激しくなっており、訪日旅行需要が掘り起こされている。

注： 日加間の割安航空券の販売競争

日本航空とエア・カナダは、成田⇄バンクーバー路線の割安航空券の販売競争を展開している。両社とも2011年3月まで、一部期間を除き、約700カナダドル(税抜き)の割引運賃を設定している。購入期限は、日本航空が11月16日まで、エア・カナダは12月7日までである。

◆英国

円高、航空便減便による逆境の中、日本関連イベントの開催などにより、訪日客数が持ち直し

10月： 18,500人(前年同月比1.2%増、200人増)

1～10月： 156,300人(前年同期比2.5%増、3,900人増)

訪日客は、10月に前年同月比1.2%増、1月～10月の累計で前年同期比2.5%増を記録した。月別では本年9月以降、2か月連続の前年同月比増となった。但し、本年10月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2006年10月(23,226人)と比べて、4,700人ほど減っている。また、本年1月～10月(累計)の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2002年1月～10月(187,816人)と比べて、約3万2千人減っている。

参考： 10月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第10位)

2006年：23,226人、2005年：22,673人、2007年：22,614人、2008年：20,803人、2004年：19,876人、
2002年：19,861人、2000年：19,415人、2003年：19,289人、1999年：19,126人、2010年：18,500人

参考： 1月～10月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第10位)

2002年：187,816人、2005年：187,670人、2007年：186,730人、2004年：183,581人、2006年：181,772人、
2008年：175,832人、2003年：169,391人、2001年：168,382人、2000年：162,764人、2010年：156,300人

[要因]

- 9月にロンドン中心部で、一般大衆を対象としたイベント「ジャパン祭り」が開催された。JNTOによる会場での観光宣伝に加え、本イベントの公式ウェブサイトなどを通じたイベント自体の事前告知などにより、日本への関心が高まった。また、10月にはロンドンで、日本の流行文化と食をテーマにしたイベント「ハイパー・ジャパン」も開催され、日本への注目度上昇に寄与した。

注： 「ジャパン祭り」は、日本協会と英国日本人会によって主催された。本イベントは昨年来開催されており、本年は来訪者数が昨年よりも1万5千人多い5万人であった。また、会場の規模も昨年に比べて拡大した。

注： 「ハイパー・ジャパン」は、在英のイベント会社により、本年初めて開催された。来訪者数は1万3千人であった。

- 一方、5月に円高英ポンド安が急進し、10月までの間、円の高止まりが継続した。10月の月間平均レートは1英ポンド=129.8円で、4月と比べて13.5円高、前年同月(2009年10月)と比べて16.6円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。(為替レート出典：三井住友銀行)
- 日英間の航空座席供給量が昨年12月に縮小した。日によっては座席の確保が困難な状況になっている。また、航空座席供給量の減少に伴い、航空運賃が高止

まった状態が続いている。

注： 日英間の航空座席供給量の縮小

成田⇄ロンドン 2009年12月7日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

◆フランス

訪日旅行の宣伝効果、経済の上向き傾向、航空便の拡大などを背景に、訪日客が増加

10月： 16,600人（前年同月比8.8%増、1,300人増）

1～10月： 129,800人（前年同期比7.2%増、8,700人増）

訪日客は10月単月、1月～10月累計とも過去最高を記録した。月別では本年5月以降、6か月連続の前年同月比増となった。本年10月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年10月（15,773人）と比べて、800人ほど増えている。また、本年1月～10月（累計）の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～10月（127,107人）と比べて、2,700人ほど増えている。

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、訪日旅行に関するテレビ番組の放映（5～7月）、新聞、雑誌等（6～10月）を通じた訪日旅行記事の掲載などを行った。これにより、訪日旅行意欲が高まった。
- 経済が緩やかながら回復傾向にある。訪日商用旅行の需要も上向き傾向にあるものと見られる。

注： フランス国立統計経済研究所によると、フランスの経済成長率は、2009年第4四半期が前期比0.6%増、2010年第1四半期が同0.2%増、第2四半期が同0.7%増、第3四半期が同0.4%増と、緩やかな回復を示している。

- 日仏間の航空便が本年10月に拡充された。

注： 日仏間の航空便の拡大

羽田⇄パリ 2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）

- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、5月に円高ユーロ安が急進し、10月までの間、円の高止まりが継続した。10月の月間平均レートは1ユーロ＝113.7円で、4月と比べて11.9円高、前年同月（2009年10月）と比べて20.2円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）

◆ドイツ

日独間の航空座席供給量の増加、景気的好調などにより、訪日客が2割増

10月： 15,300人（前年同月比21.0%増、2,700人増）

1～10月： 104,500人（前年同期比11.9%増、11,100人増）

訪日客は、10月に前年同月比21.0%増、1月～10月の累計で前年同期比11.9%増となった。10月単月としては過去最高を記録した。本年10月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年10月（15,191人）と比べて、100人ほど増えている。

月別では本年5月以降、6か月連続の前年同月比増となった。

参考： 1月～10月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：107,838人、2010年：104,500人

[要因]

- 本年6月、ドイツ系航空会社が日独航空路線で大型機材を導入した。また、本年7月、日系航空会社が日独航空路線で新規就航した。航空座席供給量の大幅増により、座席が確保しやすくなっている。また、航空券価格が割安になっていることから、低価格ツアーが出現している。

注： 日独間の航空便の拡大

成田⇄フランクフルト 2010年6月11日以降、週7便のうち週3便の航空機材を大型化（ルフトハンザ航空）

また、2010年8月2日以降、週7便全便を大型機材で運航（ルフトハンザ航空）

成田⇄ミュンヘン 2010年7月1日、週7便で新規就航（全日空）

- ユーロ安によりドイツからの輸出が大幅に伸びており、景気が好調になっている。これに伴い、訪日商用旅行の需要が拡大している。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010年8月の輸出額は前年同月比26.8%増となった。6か月連続の二桁増を記録した。

注： ドイツ連邦統計局によると、ドイツの経済成長率（実質GDP）は、2010年第1四半期が前期比0.6%増、第2四半期が同2.3%増、第3四半期が同0.7%増であった。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010年10月の失業者数は294万5千人であった。300万人を割り込み、18年ぶりの低水準となった。

- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、5月に円高ユーロ安が急進し、10月までの間、円の高止まりが継続した。10月の月間平均レートは1ユーロ=113.7円で、4月と比べて11.9円高、前年同月（2009年10月）と比べて20.2円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）

2010年8月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)
 Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Aug. 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 8月 Aug.	2010年 8月 Aug.	伸率 % Change	2009年 8月 Aug.	2010年 8月 Aug.	伸率 % Change	2009年 8月 Aug.	2010年 8月 Aug.	伸率 % Change	2009年 8月 Aug.	2010年 8月 Aug.	伸率 % Change
総数	Grand Total	679,586	802,725	18.1	504,395	613,413	21.6	82,538	99,289	20.3	92,653	90,023	-2.8
アジア	Asia Total	510,424	635,354	24.5	390,731	505,132	29.3	52,702	64,331	22.1	66,991	65,891	-1.6
韓国	South Korea	190,987	246,882	29.3	153,862	207,487	34.9	20,446	23,492	14.9	16,679	15,903	-4.7
台湾	Taiwan	114,751	113,438	-1.1	105,123	102,405	-2.6	5,810	7,104	22.3	3,818	3,929	2.9
中国	China	109,017	171,503	57.3	61,223	119,821	95.7	13,927	18,729	34.5	33,867	32,953	-2.7
香港	Hong Kong	47,134	51,526	9.3	44,663	48,636	8.9	2,024	2,447	20.9	447	443	-0.9
タイ	Thailand	8,085	9,857	21.9	4,821	5,962	23.7	1,747	2,118	21.2	1,517	1,777	17.1
シンガポール	Singapore	6,922	7,239	4.6	5,035	4,876	-3.2	1,579	2,045	29.5	308	318	3.2
マレーシア	Malaysia	4,977	4,996	0.4	2,639	2,414	-8.5	1,522	1,811	19.0	816	771	-5.5
フィリピン	Philippines	5,804	5,517	-4.9	2,651	2,582	-2.6	1,032	1,087	5.3	2,121	1,848	-12.9
インドネシア	Indonesia	4,024	3,720	-7.6	2,288	1,687	-26.3	677	779	15.1	1,059	1,254	18.4
インド	India	5,189	5,401	4.1	1,572	1,267	-19.4	1,735	2,358	35.9	1,882	1,776	-5.6
ベトナム	Vietnam	2,874	3,421	19.0	853	1,170	37.2	557	645	15.8	1,464	1,606	9.7
イスラエル	Israel	812	914	12.6	414	537	29.7	308	309	0.3	90	68	-24.4
その他アジア	Asia Unclassified	9,848	10,940	11.1	5,587	6,288	12.5	1,338	1,407	5.2	2,923	3,245	11.0
ヨーロッパ	Europe Total	75,323	77,244	2.6	52,818	53,173	0.7	12,484	14,711	17.8	10,021	9,360	-6.6
英国	United Kingdom	14,943	14,880	-0.4	9,110	8,893	-2.4	3,080	3,445	11.9	2,753	2,542	-7.7
フランス	France	13,917	14,446	3.8	10,284	10,586	2.9	1,583	1,931	22.0	2,050	1,929	-5.9
ドイツ	Germany	8,594	9,789	13.9	4,561	5,082	11.4	2,828	3,470	22.7	1,205	1,237	2.7
イタリア	Italy	9,683	8,279	-14.5	8,316	7,235	-13.0	654	701	7.2	713	343	-51.9
ロシア	Russia	4,042	4,375	8.2	2,809	3,067	9.2	607	667	9.9	626	641	2.4
スペイン	Spain	7,184	7,368	2.6	6,770	6,797	0.4	194	312	60.8	220	259	17.7
オランダ	Netherlands	2,344	2,202	-6.1	1,522	1,354	-11.0	612	628	2.6	210	220	4.8
スウェーデン	Sweden	1,681	1,873	11.4	741	899	21.3	597	649	8.7	343	325	-5.2
スイス	Switzerland	1,633	1,912	17.1	1,066	1,242	16.5	412	489	18.7	155	181	16.8
フィンランド	Finland	1,254	1,042	-16.9	869	622	-28.4	225	265	17.8	160	155	-3.1
ベルギー	Belgium	1,023	1,187	16.0	597	725	21.4	281	312	11.0	145	150	3.4
オーストリア	Austria	1,130	1,133	0.3	848	811	-4.4	197	251	27.4	85	71	-16.5
デンマーク	Denmark	786	866	10.2	408	399	-2.2	275	382	38.9	103	85	-17.5
アイルランド	Ireland	868	903	4.0	504	495	-1.8	191	238	24.6	173	170	-1.7
ノルウェー	Norway	597	654	9.5	320	349	9.1	181	205	13.3	96	100	4.2
ポルトガル	Portugal	1,104	1,634	48.0	1,026	1,521	48.2	39	67	71.8	39	46	17.9
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	4,540	4,701	3.5	3,067	3,096	0.9	528	699	32.4	945	906	-4.1
アフリカ	Africa Total	1,949	1,847	-5.2	716	593	-17.2	387	418	8.0	846	836	-1.2
北アメリカ	North America Total	73,374	69,653	-5.1	47,558	42,159	-11.4	14,072	16,390	16.5	11,744	11,104	-5.4
米国	U.S.A.	58,044	55,449	-4.5	35,908	31,688	-11.8	12,774	14,859	16.3	9,362	8,902	-4.9
カナダ	Canada	13,429	12,291	-8.5	10,403	9,280	-10.8	1,117	1,251	12.0	1,909	1,760	-7.8
メキシコ	Mexico	1,336	1,299	-2.8	1,048	970	-7.4	105	167	59.0	183	162	-11.5
その他北アメリカ	North America Unclassified	565	614	8.7	199	221	11.1	76	113	48.7	290	280	-3.4
南アメリカ	South America Total	2,606	2,963	13.7	1,440	1,797	24.8	474	560	18.1	692	606	-12.4
ブラジル	Brazil	1,243	1,527	22.8	603	905	50.1	295	343	16.3	345	279	-19.1
その他南アメリカ	South America Unclassified	1,363	1,436	5.4	837	892	6.6	179	217	21.2	347	327	-5.8
オセアニア	Oceania Total	15,860	15,610	-1.6	11,094	10,512	-5.2	2,416	2,877	19.1	2,350	2,221	-5.5
豪州	Australia	13,358	12,858	-3.7	9,655	8,874	-8.1	1,991	2,411	21.1	1,712	1,573	-8.1
ニュージーランド	New Zealand	2,222	2,538	14.2	1,351	1,594	18.0	380	420	10.5	491	524	6.7
その他オセアニア	Oceania Unclassified	280	214	-23.6	88	44	-50.0	45	46	2.2	147	124	-15.6
無国籍・その他	Stateless	50	54	8.0	38	47	23.7	3	2	-33.3	9	5	-44.4

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年1月～8月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)
 Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.-Aug. 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 1月～8月 Jan.-Aug.	2010年 1月～8月 Jan.-Aug.	伸率 % Change	2009年 1月～8月 Jan.-Aug.	2010年 1月～8月 Jan.-Aug.	伸率 % Change	2009年 1月～8月 Jan.-Aug.	2010年 1月～8月 Jan.-Aug.	伸率 % Change	2009年 1月～8月 Jan.-Aug.	2010年 1月～8月 Jan.-Aug.	伸率 % Change
総数	Grand Total	4,406,648	5,882,943	33.5	3,094,552	4,414,067	42.6	739,574	884,181	19.6	572,522	584,695	2.1
アジア	Asia Total	3,111,434	4,504,618	44.8	2,224,968	3,496,546	57.2	445,807	553,348	24.1	440,659	454,724	3.2
韓国	South Korea	1,041,709	1,652,260	58.6	761,361	1,336,770	75.6	182,619	216,902	18.8	97,729	98,588	0.9
台湾	Taiwan	684,859	888,900	29.8	613,139	805,265	31.3	49,976	60,064	20.2	21,744	23,571	8.4
中国	China	655,098	1,040,427	58.8	313,068	653,788	108.8	108,630	146,809	35.1	233,400	239,830	2.8
香港	Hong Kong	294,211	374,447	27.3	274,109	351,130	28.1	17,198	20,162	17.2	2,904	3,155	8.6
タイ	Thailand	110,075	136,028	23.6	84,096	105,399	25.3	15,169	18,685	23.2	10,810	11,944	10.5
シンガポール	Singapore	67,501	96,134	42.4	52,664	77,265	46.7	13,047	16,956	30.0	1,790	1,913	6.9
マレーシア	Malaysia	48,790	67,747	38.9	30,632	46,140	50.6	12,574	15,801	25.7	5,584	5,806	4.0
フィリピン	Philippines	48,895	52,214	6.8	25,533	28,357	11.1	8,277	9,255	11.8	15,085	14,602	-3.2
インドネシア	Indonesia	32,006	43,202	35.0	19,112	26,844	40.5	5,625	7,479	33.0	7,269	8,879	22.1
インド	India	38,814	45,175	16.4	13,372	14,496	8.4	13,556	18,799	38.7	11,886	11,880	-0.1
ベトナム	Vietnam	21,603	27,270	26.2	6,199	9,097	46.7	4,332	5,502	27.0	11,072	12,671	14.4
イスラエル	Israel	7,673	8,924	16.3	4,403	5,587	26.9	2,878	2,936	2.0	392	401	2.3
その他アジア	Asia Unclassified	60,200	71,890	19.4	27,280	36,408	33.5	11,926	13,998	17.4	20,994	21,484	2.3
ヨーロッパ	Europe Total	525,935	558,705	6.2	337,413	355,799	5.4	134,958	150,036	11.2	53,564	52,870	-1.3
英国	United Kingdom	119,723	122,272	2.1	75,729	75,330	-0.5	31,066	34,107	9.8	12,928	12,835	-0.7
フランス	France	95,712	101,667	6.2	65,803	68,727	4.4	19,763	23,110	16.9	10,146	9,830	-3.1
ドイツ	Germany	71,069	77,656	9.3	36,490	38,892	6.6	28,262	32,454	14.8	6,317	6,310	-0.1
イタリア	Italy	39,854	41,751	4.8	28,243	29,438	4.2	8,849	9,613	8.6	2,762	2,700	-2.2
ロシア	Russia	30,679	33,365	8.8	19,258	21,446	11.4	6,242	7,244	16.1	5,179	4,675	-9.7
スペイン	Spain	28,061	29,827	6.3	23,460	24,980	6.5	2,912	3,344	14.8	1,689	1,503	-11.0
オランダ	Netherlands	19,994	21,122	5.6	11,926	13,132	10.1	6,729	6,933	3.0	1,339	1,057	-21.1
スウェーデン	Sweden	16,802	19,018	13.2	9,279	11,015	18.7	5,975	6,202	3.8	1,548	1,801	16.3
スイス	Switzerland	14,941	16,753	12.1	10,296	11,887	15.5	3,806	3,993	4.9	839	873	4.1
フィンランド	Finland	12,547	11,232	-10.5	9,449	8,172	-13.5	2,412	2,362	-2.1	686	698	1.7
ベルギー	Belgium	9,059	10,148	12.0	5,298	5,780	9.1	3,042	3,625	19.2	719	743	3.3
オーストリア	Austria	8,728	9,138	4.7	5,503	5,731	4.1	2,344	2,515	7.3	881	892	1.2
デンマーク	Denmark	8,458	9,542	12.8	5,005	5,857	17.0	2,944	3,190	8.4	509	495	-2.8
アイルランド	Ireland	6,951	6,977	0.4	3,974	3,831	-3.6	1,980	2,200	11.1	997	946	-5.1
ノルウェー	Norway	6,705	6,737	0.5	4,357	4,420	1.4	1,985	1,825	-8.1	363	492	35.5
ポルトガル	Portugal	5,472	7,290	33.2	4,585	6,336	38.2	623	708	13.6	264	246	-6.8
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	31,180	34,210	9.7	18,758	20,825	11.0	6,024	6,611	9.7	6,398	6,774	5.9
アフリカ	Africa Total	13,253	13,700	3.4	4,497	4,472	-0.6	3,803	4,061	6.8	4,953	5,167	4.3
北アメリカ	North America Total	582,163	612,449	5.2	395,470	409,065	3.4	130,396	148,434	13.8	56,297	54,950	-2.4
米国	U.S.A.	467,546	491,560	5.1	305,029	314,059	3.0	117,090	133,018	13.6	45,427	44,483	-2.1
カナダ	Canada	101,666	104,604	2.9	81,528	83,929	2.9	11,417	12,630	10.6	8,721	8,045	-7.8
メキシコ	Mexico	9,366	12,428	32.7	7,424	9,431	27.0	1,078	1,849	71.5	864	1,148	32.9
その他北アメリカ	North America Unclassified	3,585	3,857	7.6	1,489	1,646	10.5	811	937	15.5	1,285	1,274	-0.9
南アメリカ	South America Total	20,299	24,630	21.3	12,068	15,211	26.0	3,805	4,830	26.9	4,426	4,589	3.7
ブラジル	Brazil	10,189	13,435	31.9	5,849	8,195	40.1	2,143	2,939	37.1	2,197	2,301	4.7
その他南アメリカ	South America Unclassified	10,110	11,195	10.7	6,219	7,016	12.8	1,662	1,891	13.8	2,229	2,288	2.6
オセアニア	Oceania Total	153,152	168,394	10.0	119,803	132,621	10.7	20,778	23,442	12.8	12,571	12,331	-1.9
豪州	Australia	131,387	145,604	10.8	105,262	117,408	11.5	17,108	19,337	13.0	9,017	8,859	-1.8
ニュージーランド	New Zealand	19,600	20,845	6.4	13,560	14,433	6.4	3,332	3,705	11.2	2,708	2,707	0.0
その他オセアニア	Oceania Unclassified	2,165	1,945	-10.2	981	780	-20.5	338	400	18.3	846	765	-9.6
無国籍・その他	Stateless	412	447	8.5	333	353	6.0	27	30	11.1	52	64	23.1

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年 年齢層 / 性別 出国日本人数

Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	構成比
	Jan.	Chg %	Feb.	Chg %	Mar.	Chg %	Apr.	Chg %	May	Chg %	June	Chg %	July	Chg %	Aug.	Chg %	Sept.	Chg %	Oct.	Chg %	Nov.	Chg %	Dec.	Chg %	Cumulative	Chg %	Share %
総数 (Total)	1,264,299	7.8	1,289,825	-5.1	1,563,113	10.2	1,212,959	0.9	1,262,453	21.8	1,312,608	38.5	1,405,335	10.1	1,642,240	8.3									10,952,832	10.3	100.00
男性 (Male)	701,815	11.7	678,099	-4.4	822,533	11.9	686,726	7.2	707,363	29.3	750,992	37.0	762,964	11.5	852,352	9.6									5,962,844	13.1	54.44
0~4	9,760	-8.2	7,870	8.7	8,811	4.5	9,697	-5.8	8,811	8.6	8,684	24.5	13,788	-2.5	15,589	-7.3									83,010	0.5	0.76
5~9	11,305	-9.6	6,614	7.4	14,088	1.4	10,285	-8.8	6,140	-15.5	5,427	19.7	23,618	-0.4	32,619	-5.7									110,096	-3.4	1.01
10~14	9,902	-5.5	4,740	7.8	20,330	9.1	8,537	-11.7	4,030	-21.8	3,126	28.7	23,209	14.2	41,738	2.1									115,612	3.3	1.06
15~19	10,331	-18.4	11,586	0.3	32,441	8.7	6,281	-6.7	6,156	83.1	7,347	139.0	17,643	57.6	30,448	9.7									122,233	15.1	1.12
20~24	22,315	-0.9	58,892	-9.5	67,459	-4.3	11,810	-8.5	14,243	26.9	15,581	38.6	16,989	14.3	44,290	13.7									251,579	1.7	2.30
25~29	42,718	3.2	50,057	-8.4	54,747	1.5	41,649	-2.4	46,776	21.6	49,016	37.9	47,229	13.0	53,967	8.5									386,159	7.8	3.53
30~34	62,879	6.6	58,977	-6.6	62,420	9.5	62,755	3.3	65,976	27.8	71,510	38.4	66,637	14.0	67,446	10.8									518,600	12.1	4.73
35~39	79,841	10.5	70,281	-6.0	79,350	12.5	78,843	9.0	81,276	35.2	89,228	40.7	85,622	14.1	87,646	11.5									652,087	15.0	5.95
40~44	83,318	14.0	71,979	-3.5	86,279	14.8	81,554	12.0	82,500	37.7	89,098	36.5	92,089	14.4	100,086	12.8									686,903	16.4	6.27
45~49	81,900	18.5	71,090	0.9	89,112	19.5	81,234	18.1	82,450	44.7	87,571	39.7	90,735	17.8	102,356	18.7									686,448	21.3	6.27
50~54	71,413	15.6	63,691	-2.8	76,481	16.2	69,668	14.6	72,374	38.1	76,597	36.1	76,614	14.3	85,222	15.6									592,060	17.6	5.41
55~59	65,148	9.2	59,361	-9.8	67,618	9.0	64,679	5.0	66,127	21.7	69,988	29.0	68,054	4.4	70,049	5.8									531,024	8.6	4.85
60~64	73,669	21.3	69,312	-1.1	77,118	20.6	76,403	9.8	78,053	24.9	82,624	37.3	71,611	8.8	64,112	8.7									592,902	15.8	5.41
65~69	41,515	18.5	39,981	-6.7	44,446	17.2	44,175	1.9	47,238	16.6	49,534	28.8	37,310	-2.4	30,864	0.0									335,063	9.1	3.06
70~	35,801	30.6	33,668	1.6	41,833	27.4	39,156	5.2	45,213	29.1	45,661	42.3	31,816	2.0	25,920	4.5									299,068	17.9	2.73
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-									0	-	0.00
女性 (Female)	562,484	3.4	611,726	-5.9	740,580	8.3	526,233	-6.2	555,090	13.4	561,616	40.5	642,371	8.5	789,888	6.9									4,989,988	7.1	45.56
0~4	9,211	-11.6	7,611	8.8	8,413	3.5	9,413	-5.8	8,550	4.9	8,266	21.9	13,137	-5.0	15,092	-7.6									79,693	-1.1	0.73
5~9	11,121	-7.4	6,413	3.2	13,848	3.3	9,928	-9.0	6,043	-13.3	5,440	17.9	23,473	0.4	31,920	-6.8									108,186	-3.2	0.99
10~14	9,702	-7.6	4,588	5.7	20,776	10.0	8,806	-10.9	4,443	-21.6	3,443	39.8	25,846	16.7	43,265	3.0									120,869	4.3	1.10
15~19	14,068	-10.6	17,863	3.0	50,897	10.2	9,108	-11.0	7,956	49.2	9,278	120.4	32,342	69.4	49,886	7.7									191,398	16.4	1.75
20~24	53,220	1.9	135,710	-4.5	127,557	5.1	25,783	-11.7	28,657	13.9	30,694	36.7	38,165	6.6	89,470	8.3									529,256	3.6	4.83
25~29	70,814	0.2	77,461	-9.4	73,249	1.7	62,596	-7.9	69,817	11.3	72,368	36.3	78,607	6.0	87,030	5.8									591,942	4.1	5.40
30~34	65,235	-2.7	61,223	-10.7	59,187	2.3	60,246	-8.2	61,191	7.0	64,250	32.1	67,977	2.4	70,651	5.2									509,960	2.3	4.66
35~39	57,580	-0.8	48,220	-9.1	54,066	5.2	51,008	-7.4	50,044	6.8	50,869	35.0	64,958	6.8	75,125	7.7									451,870	4.4	4.13
40~44	43,409	1.5	35,092	-6.6	49,458	8.6	39,010	-5.3	37,056	10.1	36,536	35.9	55,409	12.2	74,898	15.0									370,868	8.4	3.39
45~49	36,707	5.4	32,579	-6.4	49,763	9.8	34,822	-3.2	34,511	15.5	35,071	41.0	46,933	16.1	67,193	19.1									337,579	11.6	3.08
50~54	37,514	3.1	36,656	-11.8	48,644	6.2	37,090	-6.7	39,830	11.3	40,244	41.5	42,834	8.2	54,673	12.2									337,485	6.8	3.08
55~59	42,961	3.4	41,944	-12.1	49,426	5.3	46,613	-9.2	51,097	9.9	50,721	37.4	44,679	1.3	44,226	1.9									371,667	3.7	3.39
60~64	52,286	21.2	50,024	1.9	59,174	22.9	60,544	0.8	69,084	23.1	69,764	52.8	50,863	8.2	39,741	4.9									451,480	16.6	4.12
65~69	31,850	18.0	30,257	-2.6	38,910	17.7	37,895	-6.3	45,939	20.6	45,675	44.2	30,149	-0.8	23,140	-2.6									283,815	11.1	2.59
70~	26,806	22.5	26,085	7.7	37,212	24.0	33,371	0.6	40,872	30.3	38,997	53.2	26,999	6.7	23,578	3.6									253,920	18.6	2.32
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-									0	-	0.00

◆注：本資料を引用される際は、作成名・出典名の両方を明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to the compiler and source is mandatory.

作成：日本政府観光局(JNTO) / 出典：法務省

Compilation: Japan National Tourism Organization; Source: Ministry of Justice

2005年～2009年 各国・地域別 日本人訪問者数（日本から各国・地域への到着者数）

Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) from 2005 to 2009

	訪問先	Destination	基準	2005年	Chg.%	2006年	Chg.%	2007年	Chg.%	2008年	Chg.%	2009年	Chg.%	
ア	中国	China	N F V	3,389,976	1.7	3,745,881	10.5	3,977,479	6.2	3,446,117	-13.4	3,317,500	-3.7	
	韓国	South Korea	N F V	2,440,139	-0.1	2,338,921	-4.1	2,235,963	-4.4	2,378,102	6.4	3,053,311	28.4	
	香港	Hong Kong	R F V	1,210,848	7.5	1,311,111	8.3	1,324,336	1.0	1,324,797	0.0	1,204,490	-9.1	
	タイ	Thailand	N F T	1,196,654	-1.3	1,311,987	9.6	1,277,638	-2.6	1,153,868	-9.7	1,004,453	-12.9	
	台湾	Taiwan	R F V	1,124,334	26.7	1,161,489	3.3	1,166,380	0.4	1,086,691	-6.8	1,000,661	-7.9	
	シンガポール	Singapore	R F V	588,535	-1.7	594,406	1.0	594,514	0.0	571,040	-3.9	489,940	-14.2	
	インドネシア	Indonesia	R F T	517,879	-15.9	419,213	-19.1	508,820	21.4	456,713	-7.4	475,766	-13.0	
	マレーシア	Malaysia	R F T	340,027	12.8	354,213	4.2	367,567	3.8	433,462	17.9	395,746	-8.7	
	マカオ	Macau	R F V	169,115	38.4	220,190	30.2	299,403	36.0	366,920	22.6	379,241	3.4	
	ベトナム	Vietnam	R F V	320,605	20.0	383,896	19.7	417,291	8.7	392,999	-5.8	359,231	-8.6	
	フィリピン	Philippines	R F T	415,456	8.7	421,808	1.5	395,012	-6.4	359,306	-9.0	324,980	-9.6	
	カンボジア	Cambodia	R F V	137,849	16.7	158,353	14.9	161,973	2.3	163,806	1.1	146,286	-10.7	
	インド	India	N F T	103,082	6.4	119,292	15.7	145,538	22.0	145,352	-0.1	124,219	-14.5	
	モルジブ	Maldives	N F T	23,269	-50.4	39,528	69.9	41,121	4.0	38,193	-7.1	36,641	-4.1	
	ラオス	Laos	N F V	22,601	11.2	23,147	2.4	29,770	28.6	31,569	6.0	28,081	-11.0	
	ネパール	Nepal	N F T	18,239	-24.7	22,242	21.9	27,058	21.7	23,383	-13.6	22,445	-4.0	
	ミャンマー	Myanmar	N F V	19,584	-3.5	18,945	-3.3	15,623	-17.5	10,881	-30.4	13,809	26.9	
	モンゴル	Mongolia	N F V	13,230	0.3	16,909	27.8	17,307	2.4	15,036	-13.1	11,496	-23.5	
	スリランカ	Sri Lanka	R F T	17,148	-12.7	16,189	-5.6	14,274	-11.8	10,075	-29.4	10,926	8.4	
パキスタン	Pakistan	N F T	14,136	5.2	14,343	1.5	11,025	-23.1	8,294	-24.8	6,705	-19.2		
バングラデシュ	Bangladesh	N F T	6,269	-20.2	4,370	-30.3	5,851	33.9						
ブルネイ	Brunei	N F V	1,607	-19.7	3,319	106.5	4,154	25.2	4,489	8.1				
オセアニア	グアム	Guam	R F T	955,245	5.4	952,687	-0.3	931,079	-2.3	850,034	-8.7	825,129	-2.9	
	豪州	Australia	R F V	685,335	-3.5	651,070	-5.0	573,045	-12.0	457,232	-20.2	355,458	-22.3	
	北マリアナ諸島	Northern Mariana Islands	N F V	351,739	-8.1	269,780	-23.3	200,168	-25.8	213,299	6.6	191,111	-10.4	
	ニュージーランド	New Zealand	R F V	154,925	-6.1	136,401	-12.0	121,652	-10.8	102,482	-15.8	78,426	-23.5	
	パラオ	Palau	R F V	26,281	10.2	26,892	2.3	29,198	8.6	30,018	2.8	26,688	-11.1	
	ニューカレドニア	New Caledonia	R F T	31,486	7.7	29,833	-5.2	26,755	-10.3	20,225	-24.4	18,926	-6.4	
	タヒチ	Tahiti	R F T	21,986	-7.0	21,739	-1.1	23,240	6.9	18,769	-19.2	16,353	-12.9	
	フィジー	Fiji	R F T	27,380	12.2	24,369	-11.0	22,719	-6.8	21,639	-4.8	14,745	-31.9	
	トルコ	Turkey	N F V	116,969	81.9	125,755	7.5	168,852	34.3	149,731	-11.3	147,641	-1.4	
	エジプト	Egypt	N F V	74,446	5.5	87,939	18.1	129,590	47.4	108,225	-16.5			
中央アジア	アラブ首長国連邦	U.A.E.	N H A T	N.A.	-	N.A.	-	N.A.	-	N.A.	-			
	バーレーン	Bahrain	N F V	14,158	11.1	17,050	20.4	17,979	5.4					
	モロッコ	Morocco	N F T	17,044	8.4	18,255	7.1	16,902	-7.4	15,607	-7.7			
	ヨルダン	Jordan	N F V	9,418	6.0	10,551	12.0	12,532	18.8	13,492	7.7	12,752	-5.5	
	チュニジア	Tunisia	N F T	9,433	32.7	10,847	15.0	11,414	5.2	11,206	-1.8			
	アルメニア	Armenia	R F T	7,681	37.5	8,125	5.8	10,150	24.9	11,110	9.5			
	イスラエル	Israel	R F T	8,329	34.3	9,424	13.1	10,676	13.3	14,506	35.9	9,800	-32.4	
	オマーン	Oman	N H A T	7,350	1.0	6,796	-7.5	7,341	8.0	9,380	27.8			
	シリア	Syria	N F V	6,715	16.8	5,841	-13.0	6,958	19.1	8,325	19.6			
	サウジアラビア	Saudi Arabia	N F T	10,214	91.2	9,850	-3.6	12,438	26.3	14,590	17.3	6,539	-55.2	
北アフリカ	クウェート	Kuwait	N F V	8,449	-4.3	7,211	-14.7	6,551	-9.2	6,215	-5.1			
	カザフスタン	Kazakhstan	R F V	3,171	18.3	4,222	33.1	5,223	23.7	5,013	-4.0			
	ナイジェリア	Nigeria	N F V	12,428	5.0	13,671	10.0	23,475	71.7	26,087	11.1			
	南アフリカ共和国	South Africa	R F T	27,284	18.2	31,989	17.2	31,855	-0.4	27,621	-13.3	24,655	-10.7	
	ジンバブエ	Zimbabwe	R F V	10,481	-39.8	12,124	15.7	12,949	6.8	14,803	14.3			
	ケニア	Kenya	N F V	N.A.	-	14,655	-	12,728	-13.1	7,411	-41.8	10,150	37.0	
	マダガスカル	Madagascar	N F T	5,952	73.4	6,697	12.5	7,397	10.5	7,500	1.4			
	フランス	France	R F T	666,000	-5.4	696,000	4.5	698,000	0.3	674,000	-3.4			
	ドイツ	Germany	R A A T	730,232	2.1	759,899	4.1	661,792	-12.9	597,655	-9.7	537,984	-10.0	
	イタリア	Italy	N F T	281,278	-8.9	323,451	15.0	320,681	-0.9	283,819	-11.5			
ヨーロッパ	スイス	Switzerland	R H A T	335,199	-	347,299	3.6	324,554	-6.5	277,657	-14.4	275,505	-0.8	
	英国	U.K.	R F V	332,000	-4.3	341,932	3.0	307,633	-10.0	238,910	-22.3	235,000	-1.6	
	スペイン	Spain	R F T	181,050	20.2	255,310	41.0	346,048	35.5	237,495	-31.4	228,574	-3.8	
	オーストリア	Austria	R A A T	278,686	8.6	267,909	-3.9	229,347	-14.4	208,150	-9.2	198,751	-4.5	
	クロアチア	Croatia	R A A T	32,748	42.8	64,751	97.7	86,404	33.4	143,704	66.3	163,400	13.7	
	チェコ	Czech Republic	N A A T	153,980	25.6	145,804	-5.3	136,587	-6.3	123,275	-9.7	114,777	-6.9	
	ベルギー	Belgium	R A A T	111,985	-11.5	110,076	-1.7	109,902	-0.2	100,712	-8.4			
	オランダ	Netherlands	R H A T	156,900	-4.2	141,700	-9.7	128,800	-9.1	114,400	-11.2	99,300	-13.2	
	ハンガリー	Hungary	N A A T	112,127	26.6	102,168	-8.9	94,894	-7.1	75,261	-20.7			
	ロシア	Russia	N F V	87,642	-5.1	97,648	11.4	83,621	-14.4	86,237	3.1	74,159	-14.0	
ヨーロッパ	フィンランド	Finland	R A A T	70,434	-0.4	78,940	12.1	82,473	4.5	80,180	-2.8	65,925	-17.8	
	ポルトガル	Portugal	R A A T	99,686	-16.4	76,821	-22.9	66,446	-13.5	63,486	-4.5			
	スウェーデン	Sweden	R A A T	56,540	-4.3	56,006	-0.9	51,771	-7.6	49,745	-3.9			
	スロベニア	Slovenia	N A A T	12,152	35.2	19,880	63.6	24,506	23.3	38,795	58.3	47,128	21.5	
	ポーランド	Poland	N F V	39,457	21.4	40,926	3.7	47,532	16.1	42,000	-11.6			
	ノルウェー	Norway	R F T	41,000	17.1	37,000	-9.8	32,000	-13.5	30,000	-6.3			
	デンマーク	Denmark	R A A T	39,963	0.8	33,762	-15.5	30,780	-8.8	29,458	-4.3			
	ルーマニア	Romania	R F V	13,736	5.5	14,185	3.3	15,512	9.4	13,095	-15.6			
	アイスランド	Iceland	N A A T	13,855	31.7	12,704	-8.3	10,797	-15.0	11,205	3.8	11,991	7.0	
	スロバキア	Slovakia	N A A T	14,321	34.5	15,878	10.9	13,496	-15.0	13,743	1.8	11,351	-17.4	
ヨーロッパ	アイルランド	Ireland	R F T	19,000	-38.7	19,000	0.0	16,000	-15.8	14,000	-12.5	11,000	-21.4	
	ギリシャ	Greece	N F T	45,609	-18.3	50,525	10.8	28,779	-43.0	10,926	-62.0			
	ブルガリア	Bulgaria	R F V	11,273	16.4	11,833	5.0	12,154	2.7	9,830	-19.1	8,458	-14.0	
	リトアニア	Lithuania	R A A T	8,936	-2.5	8,833	-1.2	9,105	3.1	9,349	2.7	7,599	-18.7	
	エストニア	Estonia	R A A T	8,066	9.6	8,093	0.3	6,799	-16.0	6,862	0.9	7,253	5.7	
	ラトビア	Latvia	R A A T	5,732	1.0	5,249	-8.4	6,065	15.5	6,043	-0.4			
	ウクライナ	Ukraine	R F T	5,295	17.5	6,833	29.0	6,903	1.0	6,437	-6.8	5,439	-15.5	
	モナコ	Monaco	N H A T	7,674	-13.6	6,370	-17.0	6,444	1.2	6,017	-6.6	5,124	-14.8	
	北米	米国	U.S.A.	R F T	3,883,906	3.6	3,672,584	-5.4	3,531,489	-3.8	3,249,578	-8.0	2,918,268	-10.2
		(ハワイ州)	(Hawaii)	R F T	1,517,439	2.4	1,362,878	-10.2	1,296,421	-4.9	1,175,198	-9.4	1,117,159	-4.9
カナダ		Canada	R F V	441,783	1.1	401,127	-9.2	343,451	-14.4	287,198	-16.4	205,639	-28.4	
ブラジル		Brazil	R F T	68,066	11.9	74,638	9.7	63,381	-15.1	81,270	28.2	66,655	-18.0	
メキシコ		Mexico	N F T	65,788	-	68,981	4.9	71,857	4.2	69,797	-2.9	52,293	-25.1	
ペルー		Peru	R F T	35,522	19.1	36,827	3.7	39,864	8.2	46,059	15.5			
アルゼンチン		Argentina	N F T	16,678	6.7	19,273	15.6							
チリ		Chile	N F T	13,882	-3.2	13,230	-4.7	14,674	10.9	15,553	6.0	12,649	-18.	